

生涯教育研修会報告書

血液研究班（事業部・学術部）

学発番号 12 - 043

平成 24 年 11 月 20 日

報告者

所属 京都大学医学部附属病院

氏名 中西 加代子

連絡先 075-751-3484

会員番号 264668-0394

行事名：血液講演会

日時：平成 24 年 11 月 10 日土曜日 14:00～17:00

会場：キャンパスプラザ京都

講演 1：Case study 15

講師 1：林 美知子（京都民医連中央病院）

講演 2：検査部が参画できる診療支援を考える - 血液検査からの試み

講師 2：増田 詩織（近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部）

分類：専門 - 検体検査 - 20

全体参加人数：25 人

会員参加人数：21 人

以下、講演内容など

Case study 15 では、京都民医連中央病院の林 美知子氏より、血小板減少症 2 症例の提示があった。1 症例目は ADAMTS13 活性の低下が認められた TTP 症例で、2 症例目は透析患者の HIT 症例であった。どちらも血小板減少が認められるが機序は全く異なる。HIT での血小板輸血は禁忌であり、TTP においては、一刻も早い治療が予後を大きく左右する。ルーチン検査における注意深い観察と洞察力が、早期診断につながると思われた。

近畿大学医学部附属病院・中央臨床検査部の増田詩織先生には、検査部が参画できる診療支援を考える - 血液検査からの試みとして、チーム医療としての血液検査の役割について、大変わかりやすくお話しいただいた。さらに、血栓症や感染、貧血の検査でどのように診療科に貢献されているかについても、解説いただいた。本当に必要とされる検査部となれるよう、努力していかなければならないと感じた。大変勉強になりとても有意義な講演会であった。

協賛：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社